

子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川宏嗣	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H23 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[教育振興基本計画]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		7 年			
[事業目的]												
生活習慣を見直すことを通して、視力低下の進行を遅くするとともに、トレーニングによって視覚機能の改善を促進する。 正しい歯みがきの仕方を身につけることや乳歯のむし歯治療を促進させることを通して、永久歯のむし歯予防対策を促進する。												
[事業内容]												
○目の健康プロジェクト												
①目によい生活習慣を身につけるための「生活習慣チェックカード」の配布												
②「目の健康を守る3か条」運動、「目のリフレッシュタイム」「ビジョントレーニング」の実施												
○歯の健康プロジェクト												
①歯色剤を用いた正しい歯みがき教室の開催												
②歯垢染色剤で残った歯垢を口模型や歯鏡を用いて、正しい歯磨き指導や保護者への啓発に活用正しい歯みがきリーフレットの配布												
③秋に歯科追加検診を実施（補助事業者：市町）												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,612	3,031	5,075	5,570	5,185	5,185		H26：歯みがき教室を小学1・2年生から小学3・4年生まで拡大			
2月現計予算額の推移		1,612	3,031	4,575	5,570				H27：歯みがき指導資材の充実、追加検診補助金の創設			
決算額の推移		1,318	1,429	3,735					H28：歯みがき指導を中学生まで拡大 H29：印刷製本費の見直し			
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	歯磨き教室受講率 (%)	(目標)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)		受講者数/全児童数			
		実績	100	100	100	100						
活動指標	むし歯のない(処置者を含む)小学生の割合 (%)	(目標)					(73)		学校保健統計調査より抜粋			
		実績	64.9	65.9	68.4	70.0						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、市町				
予算額	5,185				5,185	事業実施方法		実行予算、補助金				
						補助率		1/2				

事業評価

事業名	子どもの目と歯の健康プロジェクト事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川宏嗣	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>本県の小中学校では、これまで「目の健康を守る3か条」運動（休み時間等を利用した「目のリフレッシュタイム」等）などの取組みにより、「裸眼視力1.0未満の児童・生徒」の割合は減少傾向にあり、全国の割合が高くなったことにより、全国との差が小さくなってきている。近視の要因は遺伝による影響が大きいと言われているが、近見作業時の正しい姿勢指導や日常生活の見直しにより、進行を出来るだけ遅らせる。また、視覚機能の改善により、「はっきり見える目」ではなく、目からきちんと情報を得ることができる「ちゃんと見える目」にしていく必要がある。</p> <p>本県の幼児のむし歯の割合は、3歳では約20%と全国並みであるが、6歳（小学校入学時）では50%を超えて、全国平均より約10%高くなっている。このため、入学以降、「めざそう歯みがき名人」リーフレット配布、「正しい歯みがき教室」などの取組みを実施している。むし歯予防のためには、小学校低学年から正しい歯みがき方を習得させ、さらに、永久歯のむし歯対策のため、中学年で正しい歯みがき方を再度徹底させる必要がある。さらに、健康な永久歯に生え替わるためには、乳歯のむし歯治療も重要であることから、むし歯治療を促進する体制が必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
小中学校の児童生徒								
他県の状況	<p>【目の取組み】 富山県：眼科医が作成したパンフレットを県が配布 石川県：特になし</p> <p>【歯の取組み】 富山県：歯に関する指導者養成講座の開催 富山県：1年生「歯みがき教室」5年生「歯肉炎予防教室」を実施</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 歯科医の提言に基づく子どもの健康推進会議 (役割分担) <p>【健康増進課】 未就学児歯科調査・分析、歯科医による対策提言、市町・保育所等による実行会議</p>	市町との連携状況	小学1、4年生全員を対象に秋の歯科追加検診を実施					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
・正しい歯みがき教室を全小中学校で実施 ・歯科追加検診の実施（16市町）		・全市町において歯科追加検診を実施			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 385
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

学校安全防災推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [日本一の安全・安心（治安充実から治安万全へ）]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[教育振興基本計画]									
[事業目的] 東日本大震災のような地震、広島市の土砂災害、台風等による風水害等の甚大な自然災害が頻繁に発生していることから、学校における実践的な防災教育の充実が喫緊の課題となっている。 県では緊急地震速報装置を設置し、速報システムを活用した避難訓練の実施や学校防災アドバイザーを派遣することで、学校における防災教育や防災管理の充実に資する。												
[事業内容] 緊急地震速報装置等の先進的な科学技術や学校防災アドバイザー（防災士、防災気象官等）を活用した避難訓練等を行う。 ○緊急地震速報装置の設置 学校敷地が土砂災害特別警戒区域に含まれる31校に設置。本年度は9校に設置（平成30年度2校） ○学校防災アドバイザーの派遣 県内の公立学校（小・中・高・特別支援）30校に派遣 ○防災教室講習会 教職員の防災に対する意識向上等を図るための講習会を開催 ○防犯教室講習会 教職員の防犯に対する意識向上等を図るための講習会を開催 ○交通安全教室講習会※29年度は開催しない 教職員の交通安全に対する意識向上等を図るための講習会を開催												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		4,882	2,124	2,311	3,740	3,996	3,740	3,740	緊急地震速報装置数による増減			
2月現計予算額の推移		4,882	2,124	1,818	3,740							
決算額の推移		3,416	1,114	1,737								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								目標値、指標の設定が困難			
活動指標	学校防災アドバイザー派遣校 (目標) 実績	(30) 28	(30) 20	(30) 28	(30) 30	(30)	(30)	(30)				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、市町				
予算額	3,996	3,996				事業実施方法		実行予算、委託				
						補助率		—				

事業評価

事業名	学校安全防災推進事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>東日本大震災のような地震、台風等による風水害等の甚大な自然災害が頻繁に発生していることから、学校における実践的な防災教育の充実が喫緊の課題となっており、平成24年度からこの事業を実施してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波被害の危険性がある20校に緊急地震速報装置を設置。（※津波被害を想定した48校全てに設置完了） ・特別支援学校（要支援者在学）5校に設置。（※特別支援学校全てに設置完了） ・学校防災アドバイザーを延べ127校に派遣。（小・中・高・特支 計305校中） <p>今後は、広島市の土砂災害を受け、土砂災害特別警戒区域内の学校（29校）に緊急地震速報装置を設置するとともに、アドバイザー未派遣の学校に対し学校防災アドバイザーを派遣する。</p>							
[受益者] 小・中・高校・特別支援の児童生徒と教職員				[想定される受益者数]			
他県の状況	<p>【富山県】 緊急地震速報装置を8校に設置し、装置を活用した避難訓練の実施 学校防災アドバイザーを8校に派遣し、防災マニュアルや避難訓練に対する指導助言</p> <p>【石川県】 緊急地震速報装置の設置は無し 学校防災アドバイザーを20校に派遣</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	小中学校に緊急地震速報装置を設置 小中学校に学校防災アドバイザーを派遣				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・土砂災害特別警戒区域内の8校に緊急地震速報装置を設置		・土砂災害特別警戒区域内の9校に緊急地震速報装置を設置		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくいの和食教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H23 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[教育振興基本計画、第2次ふくいの食育・地産地消推進計画]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
地場産食材を利用したおいしい給食の提供と、地域に根ざした食育の充実を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 家庭科等における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学5年生を対象に昆布ダシのとり方の学習の実施 ・食器やはしの持ち方等、和食マナーの確認・指導 <p>(2) ふくいこども食育チャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育教材「ふくいこども食育チャレンジ」の実践事例を活用・普及 ・指導力向上研修会の開催（教員対象：2回、栄養教諭等対象：1回） <p>(3) 高校生の弁当講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭等による、高校生と保護者等を対象としたお弁当づくり教室を開催 <p>(4) 学校給食アドバイザーによる「しあわせ元気給食」献立開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭等がプロの料理長等と連携し「しあわせ元気給食」献立を開発 ・学校給食調理員を対象に和食と調理技術に関する講習会を実施 <p>(5) 学校給食調理コンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭と児童が協力して考案した学校給食メニューコンテストの実施 <p>(6) 特色ある和食給食の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと給食の日（毎月19日）、丸ごと給食の日（2月7日）、食育月間（6月）、和食の日（11月24日）等に和食給食を提供 <p>(7) 地場産食材利用率向上会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センターにおける地場産食材の生産に関わる施設・圃場見学や利用率向上に向けた会議の開催 												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	1,714	1,452	5,436	1,477	1,577	1,577		学校給食レシピ集の印刷製本費の増等				
2月現計予算額の推移	1,797	3,272	2,485	1,477								
決算額の推移	1,372	2,405	2,161									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	学校給食地場産食材使用率 (目標)	(40)				(50)		第2次ふくいの食育・地産地消推進計画（担当部局：農林水産部）の目標				
	実績	35.2	40.9	43.5	44.9							
活動指標	調理従事員研修会参加者 (目標)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)					
	実績	57	50	49	44							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	1,577				1,577	事業実施方法		実行予算				
						補助率		-				

事業評価

事業名	ふくいの和食教育推進事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>地場産物を活用した学校給食は、食に関する指導の生きた教材となり、児童生徒の心身の成長、健康増進、生活習慣の改善を図り、食を通して自然への恩恵と感謝の心を育む。 特に、和食給食の充実と、食育の重要性を唱えた石塚左玄の訓えをもとにした教材「食育チャレンジ」の普及充実を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内小中学校及び高校、特別支援学校の児童生徒とその保護者							
他県の状況	<p>【石川県】 少子化対策監室と連携し、小学生を対象とした食育チャレンジ推進事業「いしかわ食育ブック」を作成、地場産物や食文化について学習する。</p> <p>【富山県】 11月の食育月間の「学校給食とやまの日」を設定し、地場産物を多く活用した「富山型食生活」の和食給食を実施。またレシピ集を配布。</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

小学校低学年体育支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な県政] 政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H24 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 H29 年度	
関連する県の計画等			[教育振興基本計画、スポーツ推進計画]								
[事業目的] 小学校低学年から運動することの楽しさを味わわせることで、児童の運動に対する意欲を育み、運動好きな児童を増やしていく。											
[事業内容] 小学校の体育授業に、実技指導補助や実技の模範演習等を行う指導者を派遣											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		1,375	1,375	1,237	1,218	1,218					
2月現計予算額の推移		1,375	1,375	1,237	1,218						
決算額の推移		1,293	1,313	1,237							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	運動・スポーツをすることが好きな子どもの割合 (目標)	90%	90%	90%	90%	90%			H24～26：モデル校6校における児童アンケート調査 H27～29：実践校30校における児童アンケート調査		
	実績	91%	94%	95%							
活動指標	派遣学校数 (目標)	(6)	(6)	(30)	(30)	(30)			H24～26：モデル校6校×3年間 H27～29：30校×3年間		
	実績	6	6	30	30						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	1,218	262			956	事業実施方法	実行予算				
						補助率	-				

事業評価

事業名	小学校低学年体育支援事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>H24～26に実施した「小学校低学年体育支援事業」において、指導者を派遣したモデル校における公開授業を通して各学校への体育指導技術の普及を行った。しかし、児童の体力・体格等の個人差を考慮しての指導など、授業内容により伝達が容易なものとそうでないものがあるため、伝達が難しい授業についてはモデル校以外の教員の指導能力を十分に高められていない。</p> <p>そこで、H27から派遣学校数を6校から30校に増やすとともに、実践校以外については公開授業を通して普及を進める。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
小学校の児童（1・2年生）				14,000人				
他県の状況	石川県、富山県 実施なし (参考) 【茨城県】体育授業サポーター派遣事業 ・派遣校15校/年 ・1校あたり12回/年（1回あたり2～3時間程度） 【広島県】体育実技補助指導者派遣事業 ・派遣校20校/年 ・1校あたり10回/年派遣（1回あたり4時間以内）			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 小学校低学年体育支援事業（H24～26） (実績) 年間6市町において、それぞれ1校ずつモデル校で実践。3年間で全17市町で実施。モデル校においては、運動が好きな子どもの割合を高め、有意義な実践となった。しかしモデル校以外への伝達が不十分であったため、実践校を大幅に増加した。			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	各市町に実践校数を割り当て、それぞれの学校の実態（運動能力テストの結果や体育有免許教員配置の有無等）や学校からの希望に応じて実践校を決定する。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
・小学校30校に外部指導者を派遣					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新たな部活動指導体制推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [福井から人材育成]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 ■ 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[教育振興基本計画、スポーツ推進計画]									
[事業目的] 運動部活動に、専門的な技術指導ができる地域スポーツ指導者を配置することにより、生徒への技術指導の充実を図る。												
[事業内容] ・ 競技経験や指導経験の浅い顧問が担当する運動部活動等に、地域スポーツ指導者を配置 ・ 地域スポーツ指導者の資質向上のため生徒への指導上の配慮事項などを中心とした講習会の開催												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						7,660	7,660	7,660				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								専門的な技術指導ができる地域スポーツ指導者の配置により、生徒への技術指導を図る			
活動指標	(目標) 実績					(185)	(185)	(185)				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、市町					
予算額	7,660				7,660	事業実施方法	実行予算、補助金					
						補助率	1 / 3					

事業評価

事業名	新たな部活動指導体制推進事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>中学校、高等学校の運動部活動では、顧問の教員が担当する競技に精通していない場合が多く、専門的な技術指導を受けたい生徒および保護者のニーズに答えることが難しい状況である。そのような部活動に地域スポーツ指導者を配置することにより、生徒への技術指導の充実およびその指導方法を顧問が学ぶことで顧問の指導力向上を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
中学校、高等学校の運動部活動加入者				25,000人			
他県の状況	<p>・地域スポーツ指導者の活用状況</p> <p>石川県 28年度 中学校：41名、高校：8名 29年度 実施予定なし</p> <p>富山県 28年度 中学校：440名、高校：170名 29年度 中学校：450名、高校：170名</p>			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域スポーツ人材活用実践支援事業 (実績) 中学校、高等学校での運動部活動に地域スポーツ人材を活用 28年度 95名 27年度 102名 26年度 115名		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな部活動指導体制推進事業 (役割分担) 【学校振興課】 退職教員などの人材を部活動支援員として配置し、部活動指導と大会時の引率・指導等の顧問業務を実施			市町との連携状況	中学校の運動部活動に地域スポーツ指導者を配置する市町に対して補助する。		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

県民スポーツ祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な県政] 政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[スポーツ推進計画]									
[事業目的]												
平成30年福井国体を契機とした生涯スポーツの推進を図るため、県民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに取り組む機会を創出する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合開会式 ・ 市町対抗の部 市町代表選手による競技 ・ 高等学校の部 高校生による競技 ・ 中学校の部 中学生による競技 ・ 小学生の部 小学生による競技 ・ 交流の部 一般参加者による競技 ・ 親子体験スポーツ祭 平成30年福井国体に向けた競技等の体験イベント ・ 冬季ファミリースポーツフェスタ 冬季室内でできるスポーツ等の体験イベント 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		13,500	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200					
2月現計予算額の推移		13,500	13,500	15,200	15,200							
決算額の推移		13,500	13,500	15,200								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加者数	(目標)	(35,000)	(40,000)	(44,000)	(46,000)	(46,000)	(40,000)	実施方法の工夫により、県民の誰もが参加しやすく、スポーツに親しむことのできる機会を創出する			
		実績	35,104	42,946	46,011							
活動指標	競技種目数	(目標)	(160)	(160)	(160)	(165)	(100)	(100)	競技数を増やすことで、県民が参加しやすい環境を創出する			
		実績	157	156	163	157						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県民スポーツ祭実行委員会				
予算額	15,200				15,200	事業実施方法		補助				
						補助率		定額				

事業評価

事業名	県民スポーツ祭開催事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣		
[事業の必要性・要求の背景]									
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの振興のため、スポーツ競技団体を育成するとともに県民にスポーツに参加する機会や場所の提供、新たにスポーツにチャレンジする機会を提供する必要がある。 ・平成30年福井国体の競技会場市町での競技会開催へ順次シフトさせ、福井国体に向けた機運の醸成と地域に根付いたスポーツの振興を図る必要がある。 ・スポーツ活動の少ない冬期に、家族で気軽に参加しスポーツに親しむ体験イベントを設けることで、冬季間のスポーツ活動を促進。 									
[受益者] 県民スポーツ祭参加者 体験イベント参加者 各スポーツ競技団体				[想定される受益者数]					
				参加者 42,946人 (H26年度)					
				参加者 46,011人 (H27年度)					
他県の状況	石川県 石川県民体育大会 富山県 富山県民体育大会		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (実績) 平成16年度まで、「県民体育大会」「県スポーツ・レクリエーション大会」を開催。平成17年度に2つを統合し、「県民スポーツ祭」とし県内最大のスポーツイベントとして開催。					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況	市町が開催するスポーツイベント(体験等含む)を「県民スポーツ祭協力事業」とし、県民が身近で気軽に参加できる機会を増やしている。					
[事業の評価]									
前年度の実績			実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
開催競技数の増加 (66競技→68競技)			開催競技数の増加 (68競技→70競技)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
						<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

1 県民 1 スポーツ普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川宏嗣
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な県政] 政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H25 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[スポーツ推進計画]								
[事業目的] 福井国体に向けて、スポーツ好きな児童を増やすとともに、子どもから高齢者まで、それぞれの体力や生活時間にあった運動習慣の定着を促進する。											
[事業内容] (1) 子どもの体育・スポーツ活動 (小学生) 1日1時間以上体を動かす「アクティブワン活動」の実施。 (中学生) 中学校の体育授業に指導者を派遣し、国体競技のスポーツ体験教室を実施。 (小中学校) 体育事業でトップアスリートによる指導を実施 (2) 1県民1スポーツ (スポーツチャレンジ) 1日30分以上のスポーツ活動を促すふくいスポーツチャレンジによる1県民1スポーツの機運を向上。 (スポーツ参加の促進) 様々な世代に対し、企業研修会や団体が開催するイベントなど研修や会合で研修会を開催し、職場や家庭などで運動する機会を広げていく。 (多様な指導者の養成) 地域で活動しているクラブに指導者を派遣し、クラブ指導者の資質向上を図り、質の高いスポーツを提供。											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		1,256	6,319	7,199	5,512	5,250	5,250		スポーツ大好きふくいっ子の事業完了(△718千円) ふくいっ子体力アップ大作戦の事業開始(455千円)		
2月現計予算額の推移		1,256	6,319	5,421	5,512						
決算額の推移		608	2,812	2,953							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	スポーツ実施率(%)	(目標)					(58)		週1回以上、運動・スポーツをする成人の割合		
		実績	50.1	52.8	53.0						
活動指標	スポーツチャレンジ達成者数	(目標)	(500)	(500)	(700)	(800)	(900)		チャレンジカード回収数		
		実績	324	570							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	5,250				5,250	事業実施方法	実行予算				
						補助率	-				

事業評価

事業名	1 県民 1 スポーツ普及事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川宏嗣	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県民が生涯にわたり元気で生き生きとしたスポーツライフを実現するため、ライフステージに応じて積極的に運動・スポーツに親しむことができるよう、スポーツを気軽に楽しめる環境の整備やスポーツに触れるきっかけ作りを推進し、生涯にわたりスポーツを楽しむことのできる社会を作る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
全ての一般県民				800千人				
他県の状況	石川県：いしかわ302スポーツ運動（運動をカードに記録） 富山県：なし			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	（小学校）アクティブワンに関連し、子どもの運動時間確保について、市町教育委員会からも指導を依頼している。 （中学校）各市町教委と各中学校との相談をもとに、各市町の国体開催競技種目の中から各中学校の体験種目を決定するとともに、競技団体と講師派遣についての連絡調整を依頼している。 （1 県民 1 スポーツ）チャレンジカードの配布や研修会等の開催などで協力を依頼している。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
（小学校）アクティブワン：全191校で実施。 スポーツ大好きふくいっ子：51校で実施 （中学校）スポーツ体験教室：対象となる第3学年が在籍する全74校で実施。 （スポーツチャレンジ）カード2万枚を配布 （スポーツの促進）5団体5会場で実施 （多様な指導者の養成）11団体32回実施		（スポーツ大好きふくいっ子） H25～28年度で全小学校に講師を派遣し、事業完了 （ふくいっ子体カアップ大作戦） 新たに、小中学校の体育授業でトップアスリートによる指導を実施			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 262
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

広域スポーツセンター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川宏嗣	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な県政]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H22 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等		政策	[国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
各市町に総合型地域スポーツクラブの育成を図るため、福井運動公園事務所内に県広域スポーツセンターを開設し、いつでもどこでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指す。												
[事業内容]												
<p>福井運動公園事務所に広域スポーツセンターを設置し、事業を実施</p> <p>広域スポーツセンターの機能充実</p> <p>① 総合型地域スポーツクラブの育成のための人材育成（中央研修会への派遣）</p> <p>② スポーツ情報ネットワークの活用（HPを通じた県内スポーツ情報の発信）</p> <p>総合型地域スポーツクラブへの支援</p> <p>① 総合型地域スポーツクラブの創設支援 ・新たに総合型地域スポーツクラブを創設するための研修会（2回）</p> <p>② 総合型地域スポーツクラブの育成支援 ・先進クラブの代表者による事業展開や運営面での研修会の開催（2回）</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,230	1,360	1,365	1,059	1,059	1,059	1,059				
2月現計予算額の推移		1,230	1,360	1,365	1,059							
決算額の推移		1,227	1,329	1,349								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	総合型地域スポーツクラブ数	(目標) 23	25	26	26		(35)		各市町に1クラブ以上の設立を目指す 市については、複数のクラブ設立を目指す			
	実績											
活動指標	総合型地域スポーツクラブ会員数	(目標) 11,634	8,418	8,567	7,481				クラブ数の増加に伴い、会員数の増加を目指す H26年度から、クラブ員の算出を変更したクラブがあったため減少			
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	1,059				1,059	事業実施方法		実行予算				
						補助率		-				

事業評価

事業名	広域スポーツセンター事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川宏嗣	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県民の5割以上が運動やスポーツを行うのが好きだが、8割以上が運動不足を感じていることや、スポーツ少年団や運動部活動は、少子化による部員の減少や指導者不足により、限定したスポーツ種目しか行えない。 そのため、他種目・多世代によるクラブ運営を基本とした総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援を行い、地域の活性化や他世代間交流、高齢者対策などの解決を目指す。 また、スポーツの情報の集約と発信により、県民へわかり易い県内スポーツ情報の提供を行う。</p>								
<p>[受益者]</p> <p>総合型地域スポーツクラブ会員、スポーツクラブ創設準備者、市町地域住民</p>				<p>[想定される受益者数]</p>				
他県の状況	<p>石川県 県教育委員会内に広域スポーツ支援センターを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ創設や運営のための指導者等の人材育成支援 ・スポーツ情報発信 <p>富山県 県体育協会内に広域スポーツセンターを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型クラブを含むスポーツ団体に対し研修会や相談対応 ・スポーツ情報の提供 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況	市町が行うスポーツイベントの情報を、ホームページで紹介している。				
<p>[事業の評価]</p>								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<p>・平成28年3月 1クラブ設立(13市町26クラブ)</p>					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

オリンピック東京大会事前キャンプ誘致事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県政]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等			政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]				<input type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的] 東京オリンピックにおけるキャンプ誘致を実現するために、PR活動を行い、視察受入を実施する。												
[事業内容] ○PR活動 ・大使館や中央競技団体、相手国中央競技団体へのPR活動 ○相手国中央競技団体等の視察受入												
(単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				1,076	506	6,500	7,000	4,500	事業内容の変更			
2月現計予算額の推移				936	4,006							
決算額の推移				936								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	誘致決定市町数	(目標)						(3)	大使館や中央競技団体、相手国中央競技団体への要請・PR行動や相手国の視察受入等を実施した市町数			
		実績			0	0						
活動指標	誘致行動	(目標)		(3)	(5)	(8)	(8)	(8)	大使館や中央競技団体、相手国中央競技団体への要請・PR行動や相手国の視察受入等を実施した市町数			
		実績		2	5							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		市町				
予算額	6,500				6,500	事業実施方法		補助金				
						補助率		1 / 2				

事業評価

事業名	オリンピック東京大会事前キャンプ誘致事業	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣
[事業の必要性・要求の背景]							
スポーツを通して国際交流・地域振興につなげるため、市町と協力しキャンプ誘致活動を推進する。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
全ての一般県民				800千人			
他県の状況	H27：富山県、石川県ともに誘致パンフレット作成費 H28：富山県、石川県ともに誘致要請活動費、視察経費検討			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	「2020オリンピック・パラリンピック東京大会」キャンプ誘致推進会議を開催		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・大使館や中央競技団体への要請活動を実施 ・国際競技連盟総会での誘致PR活動を実施		・相手国中央競技団体等によるキャンプ地視察の受入		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

単年度開催各種大会補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な県政] 政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	年度 経過年数 年	事業終了 予定年度	年度
関連する県の計画等			[スポーツ推進計画]									
<p>[事業目的]</p> <p>県内で開催される各種大会に補助し、県民がスポーツに興味・関心を持つ機会を充実し、地域のにぎわい・スポーツの振興を図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>各種競技団体等による大会開催に対して補助を行う。</p> <p>補助条件</p> <p>(1) 対象となる大会 国際大会、全国大会、ブロック（中部、東海北陸、中日本、北信越）大会</p> <p>(2) 大会の内容</p> <p>①競技の普及振興、競技力向上を図ることを目的としたもの ②本県発祥など、生涯スポーツの振興に貢献するもの ③県のイメージアップ、PRにつながるもの</p> <p>(3) 競技スポーツ、生涯スポーツを問わず、実施主体（補助事業者）が （公財）福井県体育協会に加盟していること</p>												
（単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		400	200	300	300	695			開催大会の増減			
2月現計予算額の推移		400	200	300	300							
決算額の推移		400	200	300								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績											
活動指標	(目標) 実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	競技団体等					
予算額	695			(繰入) 695		事業実施方法	補助					
						補助率	定額					

事業評価

事業名	単年度開催各種大会補助金	部局名	教育庁	課名	スポーツ保健課	課長名	東川 宏嗣	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>本県で開催される大会に補助をすることは、競技の普及振興、競技力向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に貢献し、本県のイメージアップ、PRにつながる。また、運営に携わる競技団体は少ない予算の中で大会成功を目標に力を尽くしており、本事業のサポートを強く求めている。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県体育協会に加盟する競技団体とその加入者				75,000人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	無			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
・全国スポーツ少年団バレーボール交流大会		・全国高等学校選抜卓球大会 ・全国レディースサッカー選手権北信越大会 ・ユースフットサル選抜トーナメント2017北信越大会 ・全日本大学フットサル大会北信越大会 ・北信越綱引大会			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	